



12 2013 DECEMBER

あなたと町を結ぶ広報

なみえ



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

平成25年12月 No.575

毎月1回1日発行

- ② 町民の皆さんへ
- ③ 浪江町功労者表彰式
- ⑥ 祝 成人式
- ⑦ みんなでともに乗り越えよう
- ⑨ いつかためになる法律知識
- ⑩ 子ども家族交流事業
- ⑫ 保健だより
- ⑭ まちの話題
- ⑰ 情報ぴっくあっぷ
- ⑳ みんなの図書館
- ㉓ 浪江のころ通信
- ㉘ 連絡先一覧

今月の表紙

応援ありがとうございました！ (11月17日 ふくしま駅伝)



安達太良山頂に冠雪を見る季節となりました。町民の皆様には避難先での3回目の師走を迎え、ご心痛いかばかりかと思うと自然に涙腺がゆるみます。

さて、今年は町の復興拠点を本庁舎に移し一部の職員を配置し災害復旧の準備に入りました。公共事業第1号として請戸漁港復旧工事に着手し、今後順次上水道、道路補修等復旧工事を進めます。また、県内に災害公営住宅を建設すべく避難先自治体・県と一体となり用地の選定等に鋭意努めており最終局面に入っております。賠償についても賠償紛争審査会に動きができましたが、予断できませんので町民の方々の「生活

浪江町長 馬場 有

支援」「生活再建」にむけて国・東京電力に対し要請・要求を強化してまいります。

更に、今年はいくらか前に進むニュースもありました。地元での事業再開（4事業）、伝統・芸能の復活、各スポーツ大会での活躍、B-1グランプリで浪江焼麺太国が1位のゴールドグランプリの栄冠を獲得し浪江町を全国に発信しました。

これらの明るいニュースは私達にとり希望と勇気を与えるもので一筋の光が見えます。来る年が浪江町民に笑顔が戻り、元気がでる年になるよう念願し、良きお正月を迎えられることをご祈念し挨拶とします。



功績をたたえて 浪江町名誉町民顕彰式 第41回浪江町功労者表彰式

11月3日の文化の日にあたり、浪江町名誉町民顕彰式・第41回浪江町功労者表彰式が二本松御苑（二本松市）で行われました。
式では、本町出身の民謡歌手として郷土の名誉を著しく高められた原田直之さんへは町長から浪江町名誉町民称号が贈られ、各般にわたって地域振興に貢献された方や今回震災で当町に援助をいただいた方々へは表彰状が贈られました。
なお、名誉町民の称号が贈られた原田直之さんと、受章者代表の叶谷守久さんより謝辞が述べられました。
受章者は次のとおりです。（名誉町民称号贈呈1名、特別功労表彰5名、功労表彰14名、善行表彰31名）

「ふくしま駅伝を 終えて」

監督 佐藤 博文
11月17日に開催された第25回ふくしま駅伝では、テレビの前や沿道で応援して頂き、町民の皆さまに感謝申し上げます。

結果は、総合29位、町の部11位で残念ながら10位入賞を逃しましたが、県内外から集結してくれた選手は本場に頑張ってくれました。また、サブマネージャーの皆さんお疲れ様でした。

避難生活が続く中、今後の大会への参加も課題が山積みですが、来年こそは入賞を目指し、ジュニア選手の育成や情報収集を心掛けていきたいと思っておりますので、浪江町民皆さまの応援をよろしくお願いたします。



浪江町名誉町民

(敬称略)



●原田 直之（高瀬出身 東京都在住）

（社団法人日本歌手協会理事4年、一般社団法人日本民謡実演家協会代表理事在任中4年11月、浪江町観光親善大使在任中8年8月、ふるさと浪江会会長在任中3年9月）

長年にわたり民謡歌手として活躍され、「歌謡芸能賞優秀賞」受賞、日本コロムビアゴールデンディスク賞プラチナ賞受賞、「民謡名人位」受章、「民謡栄誉賞」受賞など輝かしい経歴の持ち主であり、当町の出身者として、郷土の名誉を著しく高められた。
また、震災以前より、浪江町観光大使や、ふるさと浪江会会長を務め、ふるさとである浪江町発展の為に協力いただくとともに、震災後は、避難者への義援金や、歌を通じての心の支援など、浪江町民の支援に大変尽力されている。



特別功労表彰

(敬称略)



特別功労表彰 叶谷 守久さん

多年にわたり福島海区漁業調整委員会委員、請戸漁業協同組合代表理事組合長、相馬双葉漁業協同組合副組合長および請戸支所支所長として地域漁業の振興発展に尽力された。

●叶谷 守久(請戸)
(福島海区漁業調整委員会委員25年、請戸漁業協同組合代表理事組合長9年、相馬双葉漁業協同組合副組合長および請戸支所支所長として地域漁業の振興発展に尽力された。)

多年にわたり浪江町議会議員として地方自治の発展に寄与された。

●佐々木英夫(権現堂)
(議員21年4カ月)

多年にわたり浪江町議会議員として地方自治の発展に寄与された。

●勝山 一美(立野)
(議員20年、うち副議長4年)

多年にわたり県内小中学校で教鞭をとり学校教育の進展に尽力され、瑞宝双光章を受章。

●佐藤 繁雄(権現堂)
(教諭28年3カ月、校長10年)

棚塩排水機場管理者として精励され平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、自らの危険を顧みず、身を挺してその職務の遂行にあたった。

●(故)鈴木謙太郎(棚塩)
(棚塩排水機場管理者2年)

善行表彰

(敬称略)

多年にわたり消防団員として職務に精励され、消防防災行政の向上に尽力された。

●亀田 博(大堰)
(消防歴26年)

●原中 幸弘(田尻)
(消防歴21年)

●志賀 則道(幾世橋)
(消防歴25年)

●岡本 光則(幾世橋)
(消防歴24年)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、自らの危険をも顧みず、険しく困難な避難路の案内を行い、請戸小学校の児童を全員無事に避難誘導された。

●柴 良一(請戸)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、的確な判断と迅速な行動により、請戸小学校の児童を全員無事に避難誘導された。

●平成22年度請戸小学校教職員(請戸)

功労表彰

(敬称略)



多年にわたり浪江町議会議員として地方自治の発展に寄与された。

●渡部 貞信(請戸)
(議員12年)

多年にわたり行政区長として地域社会の発展に尽力された。

●門馬 孝義(権現堂)
(行政区長17年)

多年にわたり行政区長として地域社会の発展に尽力された。

●(故)石澤 茂(権現堂)
(行政区長22年3カ月)

東日本大震災による困難な状況において、いち早く請戸の田植踊りの復活に取り組み、伝統芸能の継承に尽力するとともに、人々に感動と希望を与えた。

●請戸芸能保存会
会長 渡部 忍(請戸)



功労表彰 渡部 貞信さん

東日本大震災発災以来、浪江町民を物心両面から励まし、浪江町社会福祉協議会(二本松事務所)を寄贈された。

●株式会社小松製作所
代表取締役社長兼CEO
大橋 徹二(東京都)

東日本大震災発災以来、浪江町民を物心両面から励まし、浪江町に多額の金品を寄付された。

●株式会社大高屋
代表取締役 大高 法子
(熊本県)

●株式会社アイザック
代表取締役社長 石崎 由則
(栃木県)

●株式会社ガリバーインターナショナル
代表取締役会長 羽鳥 兼一
(東京都)

●東武環境センター株式会社
代表取締役 中脇 周一
(埼玉県)

●根葉 照子(神奈川県)
代表取締役 沼田 博和
(兵庫県)

●株式会社神戸物産
代表取締役 沼田 博和
(兵庫県)

●笠間 薫子(神奈川県)

●松岡八十子(東京都)

●森本 忠雄(広島県)

東日本大震災発災以来、浪江町民を物心両面から励まし、浪江町に多額の金品を寄付された。

●株式会社ロボット
代表取締役 磯野 洋志
(群馬県)

●公益社団法人相双法人会
会長 只野 裕一(相馬市)

●エコホールディングス株式会社(東京都)

●国際ロータリー第2530地区2010年度・2011年度ガバナー
大橋 廣治(いわき市)

●東京都荒川区原町会
会長 関根 要一(東京都)

●株式会社マスセン
代表取締役 岡田 繁男
(栃木県)

●日本ボランティア会
(東京都)

●国際ロータリー第2840地区桐生西ロータリークラブ(群馬県)

●出雲大社
宮司 千家 尊祐(島根県)

●全日本教職員組合
中央執行委員長 北村 佳久
(東京都)

●有限会社アイアム岩田薬局
岩田潤二郎(静岡県)

●特定非営利活動法人電力自由化再生可能エネルギー支援機構
理事長 溝口昭八郎(岐阜県)

●中島 孝一(東京都)

●内田不由美(京都府)

●郡山中央交通株式会社
代表取締役 桑原 秀治
(郡山市)



●繋がるてとてプロジェクト
ト(宮崎県)

●小杉 秀一(新潟県)

●株式会社KATEKYOグループ
代表取締役学院長 瀧澤 邦雄
(長野県)

●相双信用組合
理事長 庄子 勇雄(相馬市)

●花水木こどもクリニック
院長 飯島 謙次(埼玉県)

●伊那商工会議所青年部
(長野県)

●皆川 達彦(東京都)

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

避難区域内の 水の汚染状況検査結果

町で実施した避難区域内の水等の汚染状況検査結果をお知らせします。

区分	検査月日	採取地	検査結果
井戸水	10月4日	権現堂	不検出
		川添	不検出
		室原	不検出
河川流水	10月4日	やな場付近	不検出
底質	10月4日	やな場付近	2,780ベクレル/kg
海水	10月4日	請戸漁港	不検出

☎生活支援課生活安全係 ☎0243(62)0151

避難区域内の ゲルマニウム半導体検査結果

町が福島県に依頼し実施した避難区域内の取水場のゲルマニウム半導体検査結果をお知らせします。

区分	採取月日	採取地	検査結果
原水	10月15日	小野田取水場	不検出
		苧野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出

ゲルマニウム半導体検出器は、ゲルマニウムを持つ半導体（温度などの条件変化によって電気を通す率が変化する物質のこと）として性質を利用して、水や食品などに含まれる微量の放射線（γ線）を測定し、放射性物質の種類やその量を測定する分析機器です。

☎復旧事業課上下水道係 ☎0240(34)0234

「区長会、議会懇談会」 「区長会研修会」

10月10日、役場二本松事務所において、「区長会、議会懇談会」および「区長会研修会」が開催され、町の復旧・復興について話し合いが行われました。



食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を測る機器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■10月の分析結果（上竹倉庫受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	23	0	いのはな、かきしめじ、うしこ
山菜、きのこ類	12	6	
米（新米）	1	0	
魚	4	0	ポポー、栗、さるなし
その他	10	3	
水（井戸水・湧水等）	10	0	
合計	60	9	

■10月の分析結果（浪江町役場本庁舎受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	4	0	ナツメ、カリン、サンザシ、柿、キウイ
山菜、きのこ類	0	0	
米（新米）	2	0	
魚	0	0	
その他	16	8	
水（井戸水・湧水等）	4	0	
合計	26	8	

食品衛生法における基準値（セシウム134、セシウム137の合算値）
 ●一般食品……100ベクレル/Kg ●飲用水……10ベクレル/Kg
 ●牛乳……50ベクレル/Kg ●乳幼児食品……50ベクレル/Kg

※浪江町内の食品は避難指示解除準備区域および居住制限区域の物は受け付けています。

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

☎上竹倉庫事務所 ☎0243(23)4774

祝 成人式

とき 2014年1月12日(日)
 ところ 安達文化ホール
 受付10時 開式11時

はたちの旅立ち

成人式を迎える皆さん、おめでとうございます。
 成人とは、大人として社会的責任を負う節目を意味する大切なときです。
 町では、皆さんの将来の活躍を期待し、祝福しています。



浪江地区

青田 泰幸・阿部 聖也
 荒井 豪・石川 真也
 石橋 燎・伊藤 駿
 伊藤由香里・井戸川佳織
 稲本 靖幸・岩野 愛
 牛田真理子・遠藤 愛
 遠藤 慎介・大浦 文香
 大胡 楓・尾崎 琴美
 小丸悠起彦・加藤 志帆
 金澤 拓海・叶 裕輔
 鎌田すずみ・川合 恵介
 菅野 将大・北川 史彬
 鍛野 祐介・小荒井美咲
 古農修一郎・小林 麻衣
 牛来 凌介・近藤 昌汰
 齋藤 純佳・齊藤 辰徳
 酒井 拓也・坂下 博樹
 坂本 隼人・櫻井 結衣
 櫻澤 綾香・佐々木晶子
 佐藤 昌弘・鮫島 真
 志賀 大亮・柴口 彩
 清水 葉月・清水 仁美
 鈴木 彩香・鈴木 千尋
 鈴木まりな・瀬野 孝志
 高木 一樹・高野 勇也
 田中彩也香・津田 綾子
 都築 佳丸・常盤 梨花
 豊永 大空
 長峰 麗奈（旧姓：小松）
 中村 暁咲・新妻 美央
 西内 匠・長谷川礼子

畠山 朋子・葉貫 花菜
 林 優太郎・平出慎太郎
 松枝 勇希・松原 新
 森山 柗平・門馬 朋美
 八島 慶喜・安田 渉平
 山田 智彦・吉田 彩乃
 吉田安梨沙・吉田優希子
 米田 晃子・若月 里紗
 和田 佳澄・和田 愛未
 渡部 和樹・渡部 太樹
 渡部 大樹・渡邊 僚
 渡部 禎

請戸地区

青田 紗耶
 青山 香澄（旧姓：鈴木）
 石井 麻矢・石川 桃子
 居村 知生・叶谷 賢吾
 熊川 望美・柴野慎幸也
 鈴木 杏梨・鈴木 直美
 只野 一道・長沼利紗子
 本田まどか・舂倉 広将
 松本 玲奈・山本 拓也

幾世橋地区

池田めぐみ・石井 浩斗
 五十崎貴明・貝塚 翔
 鎌田 博光・菅野雄治朗
 熊谷 磨澄・酒井 伸輔
 櫻田 佑也・白岩絵梨香

大堀地区

愛澤 直人・青木美沙樹
 阿部 兼太・伊藤 豪司
 宇佐見百華・長田 和希
 長田 里穂・小野田史織
 小野田真弓・北畠 結衣
 佐々木章乃・眞田 拓也
 志賀 栄里・志賀 健史
 志賀 司・志賀祐希也
 竹井 拳太・土屋 祥大
 栃本 有香・中島 七虹
 中野 優介・中野目真美
 永橋 賢富・根本 若奈
 半谷早紀恵・半谷 思穂
 星 ひかり・松本 章
 松本佳寿美・山崎 悠理
 山本 裕未・横山奈緒美
 吉田 達男・吉田 峻規
 吉田 怜楠・渡部 友綱

津島地区

大和田あかり
 今野 将太・今野 忠幸
 今野 千明・今野 強貴
 今野 美穂・三瓶 恵美
 白岩ちひろ・山崎 正平
 渡辺久美子

（敬称略）

苧野地区

石井 梓紗・石井 里佳
 板倉 潤・板倉 希
 折目 雄二・勝山 大生

※11月19日現在で、成人式参加申込書を提出された方のうち、成人式の出欠にかかわらず、成人者名簿に氏名掲載を希望された方を掲載しています。氏名掲載を希望しなかった方や、11月20日以降に提出された方は掲載されていませんので、ご了承ください。

☎教育委員会事務局生涯学習係 ☎0243(62)0304

町の農業・水産業 再生に向けて

第2回「浪江町の農業・農地 を考える会」開催

11月9日、役場二本松事務所
議室において、20名の有志が集ま
り、第2回「浪江町の農業・農地
を考える会」が開催されました。
9月に第1回の会合が開催さ
れたところですが、このたびの会
合で、会規約の制定と役員を選出
が行われ、今後、正式な団体とし
て発足することになりました。
また、津波被災地の土地利用案に
ついて、大柿ダムについて、町内
での実証栽培状況について、有害
鳥獣対策について、それぞれ担当
者から報告がなされたあと、農業
者の中で活発な意見が交わされ
ました。町としても、正式に発足
したこの会と連携し、農業者の皆



実証栽培の結果について

大字北幾世橋字町尻地内にお
いて行っている野菜の実証栽培
の結果についてお知らせします。
これは、福島県営農再開支援
事業「営農再開へ向けた作付実
証（県による実証研究）」による
取り組みで、避難指示を受けた
地域の営農再開を支援するた
め、県試験研究機関が現地実
証研究を行っているものです。
9月に播種を行い10月に収穫
したホウレンソウについて分析
を行ったところ、放射性物質は
検出されず、また、反転耕実施
後のほ場においても、土壌診断
に基づく施肥を行った栽培した
結果、十分な収量性が得られる
ことが確認されました。今後、
9月に播種・定植を行ったダイ
コンおよびハクサイについても
も、同様に収穫調査を行います。

実証栽培の協力者募集

本年度実施している作付実証
（県による実証研究）について、
来年度も引き続き実施の方向で
検討しています。このたび、平
成26年度に浪江町内での実証栽
培に協力していただける農業者
の方を公募します。
なお、土地や栽培品目等の条件
によっては、ご希望に添えない場
合もあります。また、応募が多数
の場合は、条件等勘案の上、町で
対象の方を選定させていただきます
ますが、予めご了承ください。
▽応募方法
産業再生係までご連絡くださ
い。☎0243(62)0167
▽締め切り 12月13日(金)

「農業者意向調査」調査票 提出のお願い

11月中旬に対象者に調査票を
送付しております。未提出の方
は、お早めに返送くださいませ
よう、お願いします。（締め切り
は11月29日でしたが、まだ受け
付けております。）
▽調査対象
①町民の方で、浪江町内に農地
を所有されている方
②町民の方で、震災時に浪江町
内に農地を借り受けていた方
※認定農業者の方には、別途、
県双葉農業普及所でも意向調
査を行う予定です。対象者には
改めてご案内しますので、
こちらにもご協力いただきます
ようお願いいたします。

相馬沖の試験操業について

相馬双葉漁業協同組合で取り
組んでいるシラスの試験操業が
10月11日から始まり、請戸支所
所属の漁船・漁業者も参加して
おります。10月中旬に3度の水揚
げを行いました。放射性物質検
査の結果は、生、ボイルいずれ
も非検出でした。



水揚げ後の漁船
(10月11日撮影、松川浦漁港)

「浪江町水産業協働委員会」 発足

請戸港での漁業再開と水産業
の発展を目指し、「浪江町の新た
い水産業デザイン実現化事業」を
進めており、このたび、水産業の
復興像について議論を深め互
いに納得のいく取り組みとするた
め、「浪江町水産業協働委員会」
および「浪江町水産業ワーキング
グループ」を発足させました。
協働委員会は、行政、漁
協組合員、関連団体、外部有識
者等の約20名から構成され、豊
富な知見を背景に事業の運営に
適切なアドバイスをを行う役割を
担います。一方、ワーキンググ
ループは、将来を担う若手漁業

水産業アンケート提出の お願い

対象者に調査票を送付して
おりますので、早めに返送くださ
いますようお願いいたします。
▽調査対象
①相馬双葉漁業協同組合請戸支
所の組合員およびご家族の方
②請戸支所仲買業者の方



いつかためになる

法律知識

Vol.2

町民の皆さんから よくいただく質問



弁護士 井上 航
産業・賠償対策課 主幹
(所属：第二東京弁護士会)

Q ADRRの申立ては弁護士や
司法書士に頼まないででき
ないのでしょうか？

A ご本人だけで申立てをする
ことが可能です。ちなみに、
センターへの和解仲介申立ての約
7割は代理人の付いていない本人
申立てです。ご本人申立てでも
多くが和解成立となっています。
ご本人申立てでも、センターの調
査官（弁護士）が事情を伺いな
がら進めていきますので、ご心配
いたなくても結構です。

一方、弁護士を代理人として申
立てをした場合、申立書の作成な
ど代理人が行ってくださるし、代
理人が事実、証拠、法的根拠など
を適切に整理してくれるといった
メリットもあると思われれます。
ご本人申立てをされる場合、申

Q できれば自分で申立てをし
たいのですが、費用はどれ
くらいかかりますか？

A 申立て・和解の仲介に関す
る手数料はいただいております
せん（無料）。ただし、申立書と提
出する書類のコピー代、郵送料、
申立後の電話代、審理期日出席
するための交通費等は各自にご負
担いただくこととなります。

Q また複雑な書類を書くのは
うんざりです。紛争解決セ
ンターが手助けしてくれるこ
とはありませんか？

A センターでは、法律に詳しく
くない方が書いた申立書も受

Q 平日は仕事を休むのが難し
く、相談に行くことができ
ません。また、申立てをして
も平日に出席するのは難しい
のですが？

A ご相談については、原子力
損害賠償支援機構が、福島県

付します。申立ての方法や申立書
の一般的な書き方については、各
事務所・支所の窓口やフリーダイ
ヤルでご案内しています。ただ
し、センターでは、申立書の記載
の代行、損害賠償請求の可否請求
金額などの相談についてはお受け
していませんので、ご理解願いま
す。

また、弁護士や司法書士を代理
人として申立てを行えば、代理人
が申立書の作成や証拠書類の収
集・整理をしてくれます。福島県
や原子力損害賠償支援機構、弁護
士会などが実施している無料相談
を受けてみるという方法もありま
す。

内各地で土曜日や日曜日にも相談
会を開催している場合もあります
ので、問い合わせをしてください。
☎0120(330)540
(受付時間：9時～17時、土日
祝日も受付しています)
また、申立て後は、平日に、ご自
宅や勤務先からの電話や書類の郵
送をすることによって、審理に対
応できることがほとんどです。可
能であれば、平日に、福島事務所
や支所に出向いていただいでテレ
ビ会議で審理に参加することも可
能です。

そのほか、申立て後の審理に出
席できない場合には、弁護士等に
依頼して代理人となってもらった
り、家族に代理人となってもらっ
ていただけます。

家族等の代理人についてです
が、センターでは、三親等内の親
族・同居の親族・法人の場合には
社員などを代理人とすることを認
めております。委任状、戸籍謄本、
法人の全部事項証明などが必要と
なります。

相談はこちらまで

■福島県弁護士会 原子力発電所
事故被害者救済支援センター
☎024(533)7770
*受付窓口
(平日10時～15時)

■震災法テラスダイヤル
☎0120(078309)
*福島市・二本松市・双葉郡
広野町に相談できる事務所
があります。
県外の法テラスも紹介して
もらえます。

問 産業賠償対策課賠償支援係
☎0243(62)0167

大堀小学校



大堀小学校・荻野小学校

10月20日(日)

会場：国立磐梯青少年交流の家 参加人数：111名



荻野小学校

集まれ！ なみえっ子

● 宮崎 茜さん
(当時：小2 現在：小5)
最初のレクリエーションでいろいろなゲームができて楽しかったです。えんぴつたては色をぬったり、書いたりするのが楽しかったです。

大堀小学校

かったです。ペン立てに絵をかいたのも楽しかったです！またこういう会に参加したいです！

● 岡本 ちりさん
(当時：小3 現在：小6)
今日はみんなと会えて、とてもうれしかったです。みんなと会ったら元気ができました。みうちゃんや、みやびちゃんと遊んだ

荻野小学校



子ども 家族交流事業

☎ 教育委員会事務局生涯学習係 ☎ 0243(62)0304

10月に町内の小中学校ごとに開催した子ども家族交流事業は、総勢213名に参加をいただきました。久しぶりに友だちと再会した子どもたちは、笑顔いっぱいでのレクリエーション活動と創作活動に取り組みました。交流会に参加した子どもたちの活動の様子と感想をご紹介します。



浪江小学校

● 佐々木 涼さん
(当時：小2 現在：小5)
みんなでやったレクリエーションなどが楽しかったです。ペンケースの絵付けもみんなでやって楽しかったです。また、このような会があれば来たいです。

● 庄司 瑠夏さん
(当時：小4 現在：中1)
浪江小や浪江中のお友達と

いっしょに遊んだり、絵つけをして楽しかったです。また、浪江の集まりに行きたいと思います。

浪江中学校

● 平本 祐樹さん
(当時：中2 現在：高2)
この活動に参加して、改めて浪江町のことを思い出します。また、久しぶりに会った友達と、話し合えたので、とても楽し



浪江小学校

浪江小学校・浪江中学校

10月14日(祝・月)

会場：国立磐梯青少年交流の家 参加人数：102名



浪江中学校

しかったです。また、こういう機会があれば参加したいと思います。

● 柳沼 要俊さん
(当時：中2 現在：高2)
今回の交流会では、たくさんの人とふれ合い、色々な経験をさせていただきました。これからも色々な経験をして、物事に対する考え方や見方の視野を広げたいと思います。今回はこの会にさそっていただきありがとうございました。



● 蛭田 実詩さん
(当時：小3 現在：小6)
今日は、ちりちゃん、雅ちゃんと遊びました！みんなと会えてとてもうれしかったです！！元気が出ました。手紙も交換しました！手紙を大事にしたいです。またこういうきかいで、ちりちゃんや雅ちゃんたちと会いたいです。

広げよう
ママ友の輪

かもめっ子クラブ 「親子あそび教室」

たくさんのお子さんとママの参加をお待ちしています。
参加希望の方はご連絡ください。
当日参加も大歓迎です。



△10月15日、郡山市



△10月19日、南相馬市



△10月24日、
いわき市

今月の かもめっ子クラブ

◆郡山市 12月17日(火) 10時～ 郡山市母子福祉センター
◆いわき市 12月19日(木) 10時～ いわき市文化センター

ノルディックウォーキング いかがですか

10月21日、岳温泉でノルディックウォーキングを開催しました。約20名の皆さんにご参加いただき、秋のあだたらを散策しました。

ノルディックウォーキングは、2本のポールを使って歩く誰でも簡単にできるスポーツです。ポールを使用することで、エネルギー消費量が通常のウォーキングに比べ平均20%上昇し、1時間あたり400キロカロリーを消費するといわれています。

首や肩にかけてのコリや痛みが解消されたり、関節やひざへの負担が軽減されます。

これからも開催しますので、皆さんぜひご参加ください。

(ポールは町で準備しています。)



「みんなで元気！」 ロコモ予防教室

最近、家の中でつまずくことが多くなったり、階段を上るのに手すりを使ったりすることが増えていませんか。

運動機能が衰えて、介護が必要になる前に、自分にあった方法でロコモ予防に取り組みましょう。

町では、「みんなで元気！」を合言葉に、ストレッチやダンベル体操などのロコモ予防教室を福島市、いわき市、郡山市、二本松市、白河市、南相馬市で開催しています。

興味のある方は、いつでもご連絡ください。

一緒に心もからだもリフレッシュしましょう。



<10月24日、白河市

▽11月2日、南相馬市



ノロウイルスにご注意

ノロウイルスは、急性胃腸炎を引き起こすウイルスで、11月から3月の主に冬に多く発生します。

ノロウイルスの感染は、ほとんどが口から体内に入り感染する経口感染です。

個人の健康保持はもちろん、集団の感染を防ぐためにも、皆さんご注意ください。



主な症状

吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、発熱など。

潜伏期間は1～2日で、通常発症後3日以内で軽快しますが、脱水に注意する必要があります。

予防対策のポイント

★トイレの後、料理の前、食事の前には石けんをつけて流水で十分に(30秒以上)

手を洗いましょう。

また手を洗うときは、一緒に蛇口も洗いましょう。

※石けんによる手洗いは、ウイルスを手指から剥がれやすくする効果があります。

★手洗い後、使用するタオル等は清潔なものを使用し、共用は避けましょう。

★カキなどの二枚貝は、ノロウイルスを取り込んでいる可能性がありますので、十分に加熱してから食べましょう。(85℃ 1分間の加熱で死滅)

★手指や調理器具の洗浄・消毒、また生鮮食品(野菜、果物)は、十分に洗浄しましょう。



保健 だより



問 健康保険課健康係 TEL 0243(62)0168

発症した場合の注意

★発症したら医療機関を受診するようにしましょう。(有効な抗ウイルス剤はありませんが、整腸剤や輸液などを対症療法的に用いることがあります。)

★発症者の嘔吐物や便の中には、多量のウイルスが含まれ、感染が広がる可能性がありますので、注意しましょう。

※嘔吐物などで汚れた床は、新聞紙やペーパータオルなどで拭き取ったあと、塩素系漂白剤(☆)をしみこませたティッシュペーパーなどで拭き取り、消毒しましょう。使い捨ての手袋を使いましょう。

★家庭用の塩素系漂白剤を水で薄めて「塩素液」を作ります。

製品の濃度	液の量 200ppmの濃度の 塩素液	水の量
6%	10 ml	3 L
1%	60 ml	3 L

製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。

メンズ教室開催中!

随時参加者
大募集中!!

いわき市内で男性限定のダンベル教室を開催しています。

「最近体力がなくなったなあ」と感じたりしていませんか。簡単な体操から昔の体力を取り戻しましょう。

興味のある方はご連絡ください。



予防接種はお済みですか

対象年齢を過ぎると費用が個人負担となりますので、ご注意ください。

【麻しん・風しん混合ワクチン】

	対象年齢	接種期間
I 期	1歳から2歳未満	1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前々日まで
II 期	幼稚園年長児に相当する年齢	平成26年3月31日まで

【二種混合(破傷風・ジフテリア)ワクチン】

▷対象年齢 11歳以上13歳未満の方

※小学6年に相当する年齢

※県外に避難している方は、避難先の市区町村にお問い合わせください。

※接種するときは、母子健康手帳を忘れずにお持ちください。

※不明な点はお問い合わせください。





浪江焼麺太国 B-1グランプリin豊川 ゴールドグランプリ受賞



11月9、10日に愛知県豊川市で開かれたB-1グランプリin豊川で浪江焼麺太国は念願のゴールドグランプリを受賞しました。
平成23年3月11日に発生した東日本大震災、福島第一原発事故以降も、麺バーは古里への熱い気持ちを持って「まちおこし」のため、ボランティアで活動を続けてきました。
町民の「心の復興」や避難生活など現状の「風化防止」を目的に活動し、今年は「まちおこし」から「まちのこし」をテーマに、B-1グランプリ4度目の出演で見事な結果を残しました。
今大会には浪江小学校「こども大使」の絵画なども持参し、太国の皆さんほか、町民ボランティア、提供店の皆さん、福島大学のボランティアなど、総勢約70人で臨みました。その様子を写真でお伝えします。

浪江焼麺太国の皆さんから一言

浪江焼麺太国 太王
八島 貞之さん

ゴールドグランプリを獲得できたことは、町民の皆さんご支援のおかげです。復興するまでは長い道のりですが、諦めずに県、町と一体となって必ず古里を取り戻すための活動を継続します。それが、皆さんへの恩返しだと思っております。今後とも応援をよろしく願っています。

阿久津 雅信さん

浪江町を誇れる活動となるように、これからも頑張ります。

橋 弦一郎さん

願いや思いはあきらめずに頑張れば必ず叶います！

周原 仁さん

ゴールドグランプリ獲得しました！これからも町の現状を伝えるようがんばります！

瀧 真琴さん

みんな大変な中がんばって来たので、ゴールドグランプリの受賞は本当にうれしいです。

渡部 昌平さん

ここまで出来たのもサポートの方のおかげです。感謝！

渡邊 太一さん

全ての方へ、ありがとうございます。

井戸川 将吾さん

すべての方々へ感謝です。ありがとうございました！

松下 徳弘さん

この受賞が、同じ故郷を思う人のこれからの心の「向き」を決める一助にでもなれば幸いです。

前司 昭博さん

多くの方に「ありがとう」と伝えたい。これからも太麺で「福島・浪江」の為に、想いを繋ぎ、頑張りたいと思います。

田河 朋裕さん

心の底から感動できる場面に立ち会うことができ一生の思い出ができました。

高橋 正也さん

応援いただいた皆様に感謝すると同時に、今までの活動が認められ、本当にうれしいです。

浅見 公紀さん

町民として活動できることを誇りに思います。皆さんのご支援に感謝します。



● 太い中華麺を使う
● 具はもやしと豚肉のみ
● ソース味を基本とする

50年以上前「安い食材で腹いっぱいになってもらいたい」という思いがこのメニューを生み出した。太い中華麺、具にもやしと豚肉を使うのが基本。

①入国ゲートに並ぶ来場者 ②サポート麺バーの阿部さんは、浪江町とB-1グランプリをPRするため、東京から豊川まで自転車で20時間以上かけて走破しました。 ③浪江小学校「こども大使」からのメッセージを会場に展示しました。 ④NYTSが「なみえ焼そば体操」を披露しました。 ⑤来年のB-1グランプリは、郡山市で開催となりました。

スポーツの秋 (町長杯)

●グラウンドゴルフ大会●

10月8日、二本松市城山総合グラウンドにおいて、町長杯グラウンドゴルフ大会が開催されました。大会には協会員21名、一般参加者28名が参加し、町長は「協会員の方も一般参加の方と一緒に仲を深めていただきたい。」と挨拶しました。参加者は、仲間との久しぶりの再会に笑顔があふれ、一般参加者とも交流を深めました。結果は次のとおりです。(敬称略)



★男子の部★

- 優勝 半谷 伸一(田 尻)
- 準優勝 原中 一夫(田 尻)
- 3位 佐々木保彦(昼曽根)
- 4位 梅津 義雄(津 島)
- 5位 居村 久治(請 戸)

★女子の部★

- 優勝 高木 育子(酒 井)
- 準優勝 遠藤千恵子(北幾世橋)
- 3位 佐藤 ミヨ(津 島)
- 4位 谷田 温子(酒 井)
- 5位 佐々木やす子(昼曽根)

●ソフトボール、バレーボール大会●

11月9日、本宮市白沢運動場および体育館において、町長杯ソフトボール大会およびバレーボール大会が開催されました。大会にはそれぞれ4チームが参加し、仲間との再会を喜びながら、秋晴れの下心地よい汗を流しました。(バレーボール大会は、順位を付けず、交流試合を行いました。)結果は次のとおりです。(敬称略)

- ★優勝 クララーズ
- ★準優勝 オールジャック
- ★3位 井手スポーツクラブ
- ★3位 S S B



ソフトボール大会優勝「クララーズ」



自治会の活動

相馬市 大野台第8 応急仮設住宅自治会 なみえ復興祭2013秋

10月12日、相馬市大野台第8 応急仮設住宅において、自治会主催によるなみえ復興祭2013秋が開催されました。当日は天気にも恵まれ、馬場町長とお茶会をはじめ、出店にはなみえ焼そばや同仮設に入居されている町民の方々が作ったおこわや漬物、野菜、クラフトなど多くのものが並びました。集会所前のステージでは、アーティストの皆さんによるライブや抽選会などイベントが多数催されました。町民の方や相馬市周辺にお住いの方など約500名の方が来場し、同仮設集会所前の会場は多くの人々で賑わいました。自治会長の小松さんは、「皆さんが楽しみながら絆を深め、希望を感じることができたと思います。」と避難中でありながらも前向きに進もうとする姿勢と復興祭の成功に対する言葉を述べられました。復興祭の最後には、来場された皆さんに、同仮設へ物資の支援をして下さっている熊本県の大島屋さんからリンゴジュースが配られ、大盛況のうちに幕を閉じました。



ふたばワールド2013

10月19日、広野町総合グラウンドにおいて、ふたばワールドが開催されました。このイベントは、かつて双葉郡8町村の住民が交流する場として開催され、今回は14年ぶりの復活開催となりました。再会・交流・絆を深める場として、会場には全国各地で避難生活が続く住民が集まり、大鍋すいとん汁や8町村の伝統芸能の発表、復興商店街などのイベントを楽しみ、多くの人々で賑わいました。



△相馬流山踊

◁浪江町の復興の取組み (パネル展示)

がんばれ!
なみえ

まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。

問 復興推進課情報統計係
TEL 0243(62)4731



秋 桜祭

10月27日、浪江中学校(二本松市)において、秋桜祭が開催されました。今年は「Action!～浪中魂、今、ここに～」のスローガンをもとに3部構成の発表が行われ、各学年の総合学習発表、人権作文発表、全校生徒によるよさこいなどが行われました。今年も多くの方からご支援をいただき、あたたかい文化祭となりました。



民俗芸能大会in八戸市 (室原の田植踊)

10月27日、青森県八戸市公会堂において、第55回北海道・東北ブロック民俗芸能大会が開催され、室原の田植踊が出演しました。室原地区には「種蒔き踊」「田植踊」「石代量り」の三種類の豊作祈願の芸能が伝承されており、これらをまとめて田植踊、地区名をつけて室原の田植踊と呼ばれています。



浪江町戦没者追悼式・慰霊祭



11月7日、二本松市のほうりん齋場において、4年ぶりに浪江町戦没者追悼式・慰霊祭が開催されました。
齋場では、来賓・遺族合わせて約100名の参列者により、800有余柱の御霊をご慰霊しました。
浪江町戦没者追悼式・慰霊祭は2年毎に開催していましたが、平成21年11月に開催したのを最後に、平成23年度は震災のため見送りとなってしまいました。

ありがとうございました



第41回浪江町功労者表彰式で功労表彰を受章された笠間薫子様（神奈川県）から、町へ義援金をいただきました。



東京福島県人会様から、町へ義援金をいただきました。



ジョイライフさやま様（埼玉県狭山市）から、町へ義援金をいただきました。（10月13日には、埼玉県狭山市において「福島原発被災地復興支援フェスタ2013」が開催され、勇壮な相馬野馬追の武者行列やせんたん太鼓の披露、またなみえ焼きそばの出店もあり、参加された皆さんは郷土色豊かなイベントを楽しんでいました。）

浪江町芸文協に加盟している「浪江町菊の会」の天野茂様から、町へ菊の花を昨年に続き貸し出ししていただき、役場二本松事務所町民ホールに11月末まで展示されました。



日本ボランティア会様から、町へ義援金をいただきました（今回で4回目）。また、本「あの日のあとき」も寄贈いただきました。



岡山県浅口市市長栗山康彦様から、市のイベントで募った募金を、町へ復興支援金としていただきました。



大原恵子様（岩手県）から、イベントで募った募金を、町へ義援金としていただきました。義援金は、子どもたちのために大切に活用させていただきます。



「救世軍」様から、町へウォーターサーバー、備蓄品（乾パン、保存水）などを寄贈いただきました。
※救世軍：イギリスに本部を置き、現在、世界126の国と地域で活動する国際的なキリスト教（プロテスタント）の団体です。

情報

問合せ
申込み
電話
ファクス
メールアドレス
ホームページアドレス
フリーダイヤル

ぴくあっぷ

+ 仮設津島診療所のお医者さん

☎ 仮設津島診療所 ☎ 0243(24)1431

■ 診療時間 午前：9時～12時
午後：14時～16時

- 12月2日(月) 関根・佐川(午後)
- 3日(火) 関根・佐川(午後)・弘前大学
- 4日(水) 関根・西・福島医大(午前)
- 5日(木) 関根
- 6日(金) 関根・玉井(午前)・佐川(午後)
- 9日(月) 関根・佐川(午後)・小早川
- 10日(火) 関根・佐川(午後)
- 11日(水) 関根・西・福島医大(午前)
- 12日(木) 関根・今村・弘前大学
- 13日(金) 関根・玉井(午前)・佐川(午後)
- 16日(月) 関根・佐川(午後)
- 17日(火) 関根・佐川(午後)・弘前大学
- 18日(水) 関根・西・福島医大(午前)
- 19日(木) 関根・中森
- 20日(金) 関根・玉井(午前)・佐川(午後)
- 24日(火) 関根・佐川(午後)
- 25日(水) 関根・西・福島医大(午前)
- 26日(木) 関根・今村・弘前大学
- 27日(金) 関根・玉井(午前)・佐川(午後)
(都合により変更あり)

「福島県借上げ住宅 特例措置」の 受付延長

平成26年1月までに入居可能な物件（福島県内の民間賃貸住宅）についても受付が可能となりました。

なお、借上げ住宅の住み替えについては、やむを得ない事情がある場合に限り1度のみ認められるものです。
※「やむを得ない事情とは」福島県外の応急仮設住宅（民間借上げ住宅等を含む）から県内の応急仮設に住み替える場合や、就学、新規就労のため遠方から地元方向へ戻る住

国民年金基金制度の ご案内

国民年金の第一号被保険者の 皆さまへ

● 国民年金基金は、自営業、農業などの国民年金の第一号被保険者の方々がゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乗せする公的年金制度です。
● 加入できるのは、国民年金に加入している20歳以上60歳未

み替えの場合に限りです。
(住環境改善や世帯分離による場合は原則認められません。)
☎ 生活支援課住宅支援係
0243(62)4736

● 満の方は、色々とタイプから現在の状況や将来設計にあわせて選ぶことができます。
● 年金受給前や保証期間内にお亡くなりになった場合、ご家族に一時金が支払われます。（保障がないタイプの年金もありません。）
● 掛金は全額社会保険料控除、受け取る年金は公的年金等控除の対象になり、税制面で優遇されます。

☎ 福島県国民年金基金
0120(65)4192

町内モニタリングポスト測定結果

原子力規制委員会で町内40箇所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。なお、測定結果情報はホームページで閲覧できます。

* 原子力規制委員会放射線モニタリング情報
<http://radioactivity.nsr.go.jp/>

☎ 原子力規制委員会
原子力規制庁監視情報課
☎ 03(5114)2125

(単位:μSv/h)

測定地点	11/1	11/15	測定地点	11/1	11/15	測定地点	11/1	11/15
津島小学校	3.4	3.3	津島活性化センター	0.8	0.8	小野田集会所	1.7	1.7
津島中学校	1.6	1.5	昼管根屯所	10.5	10.5	酒井集会所	2.9	2.8
浪江高等学校津島校	7.6	7.5	新町ふれあい広場	0.4	0.4	室原公民館	3.3	3.3
浪江（中央公園付近）	0.6	0.6	川添葉山会館	2.6	2.6	立野中多目的集会所	3.6	3.6
幾世橋（幾世橋小学校付近）	0.2	0.2	樋渡牛渡集会所	2.9	2.8	苅宿公民館	2.2	2.2
浪江ひまわり荘	2.3	2.3	高瀬多目的集会所	0.6	0.6	加倉集会所	2.1	2.0
手七郎集会所	7.4	7.2	幾世橋集会所	0.2	0.2	藤橋消防屯所	0.5	0.5
大柿簡易郵便局	10.1	10.1	浪江町公民館幾世橋分館	0.1	0.1	羽附集会所	0.6	0.5
家老集会所	6.2	6.2	北棚塩総合集会所	0.1	0.1	大字津島集会所	1.8	1.7
赤宇木集会所	7.3	7.2	棚塩集会所	0.09	0.1	南下コミュニティセンター	4.8	4.6
大堀小学校	2.8	2.7	大字請戸集会所	0.07	0.08	葛久保集会所	7.5	7.3
苅野小学校	3.2	3.2	中上ノ原町営住宅	2.6	2.5	陶芸の杜おおほり	9.8	9.0
浪江町役場	0.1	0.1	井手多目的研修センター	5.8	5.7			
小丸多目的集会所	19.4	19.3	田尻集会所	1.4	1.3			

年金出張相談会のお知らせ

次のとおり年金出張相談会を開催します。年金のご利用ください。みの方はご利用ください。

- ▽日時 12月18日(水) 10時～16時
- ▽場所 役場二本松事務所
- ▽予約方法 原則、事前の予約が必要です。
- ▽相談内容 老齢年金、障害年金、遺族年金の請求をはじめ、年金に関すること。

住家被害認定調査の申し込みについて

現在実施している住家被害認定調査については、これから冬期に入り、降雪、路面の凍結等により、調査に立会いする方の浪江町への移動中の危険が予想されるため、調査申し込みを12月13日(金)までとします。なお、平成26年度も実施を予定しています。

林業退職金共済制度(林退共)からのお知らせ

林業の仕事をしていたことがありませんか？林退共制度に加入していたのに、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

- 「相続税法が変わります」
- 個別相談(予約優先) 13時～15時30分
- ▽定員 20名(先着順)
- ※受講を希望される方は、電話でお申し込みください。
- ▽今後の予定
 - 1月 社会保険労務士
 - 2月 弁護士
 - 3月 社会福祉士
- ▽その他 法テラスは国が設立した公的な法人です。

法テラス二本松 リレーセミナー開催

法テラス二本松では、現在専門家によるリレーセミナーを開催しています。受講料は無料です。

- ▽日時 12月19日(木) 10時30分～11時30分
- ▽場所 法テラス二本松 (二本松図書館前)
- ▽内容 「相続税法が変わります」

金融庁と財務局から大切なお知らせ

東日本大震災により住めなくなった家の住宅ローン、残っていませんか？「個人版私的整理ガイドライン」を利用することにより、住宅ローンなどの免除を受けることが出来ます。

- ①個人信用情報の登録などの不利益を回避できます。
- ②国の補助により、弁護士費用はかかりません。
- (注)運営委員会に登録された弁護士費用に限りです。

平成25年度 家族のためのうつ病教室【第3回】

うつ病の正しい知識を学び、家族の役割やご家族自身が元気になるための方法を一緒に考えてみませんか？

- ▽日時 12月19日(木) 13時30分～15時30分
- ▽場所 相双保健福祉事務所
- ▽対象者 うつ病で治療中の方のご家族
- ▽内容 「講話」「服薬・生活指導」
- 講話「服薬・生活指導」
- 講師 ふくしま心のケアセンター

平成25年度 防衛省自衛官募集

自衛隊福島地方協力本部では、次のとおり自衛官を募集します。

募集項目	自衛官候補生
応募資格	18歳以上27歳未満の男子 (年齢基準：平成26年3月1日現在または同年4月1日現在)
受付期間	平成26年1月17日(金)まで
試験期日	平成26年1月25日(土) 陸上自衛隊郡山駐屯地 平成26年1月26日(日) 陸上自衛隊福島駐屯地 (いずれか1日)
受験会場	平成26年1月25日(土) 陸上自衛隊郡山駐屯地 平成26年1月26日(日) 陸上自衛隊福島駐屯地
試験内容	筆記試験(国語、数学、社会、作文) 口述試験、身体検査
入隊時期	平成26年3月下旬または4月上旬、または別に示す

申・問 自衛隊福島地方協力本部相双地域事務所
TEL・FAX 0244(23)4712

避難状況 (10月31日現在)

都道府県	人数	対9/30	都道府県	人数	対9/30
北海道	72	0	滋賀県	1	0
青森県	53	0	京都府	35	0
岩手県	34	0	大阪府	60	0
宮城県	598	-3	兵庫県	14	-2
秋田県	78	0	奈良県	6	0
山形県	221	-1	和歌山県	0	0
福島県	14,649	14	鳥取県	1	0
茨城県	912	4	島根県	8	0
栃木県	440	-2	岡山県	23	0
群馬県	200	-1	広島県	16	0
埼玉県	735	1	山口県	1	0
千葉県	573	-4	徳島県	1	0
東京都	934	-5	香川県	3	0
神奈川県	486	0	愛媛県	13	0
新潟県	512	0	高知県	7	0
富山県	17	-1	福岡県	19	0
石川県	37	0	佐賀県	5	0
福井県	12	0	長崎県	11	0
山梨県	66	2	熊本県	2	0
長野県	56	0	大分県	6	0
岐阜県	19	0	宮崎県	7	0
静岡県	73	0	鹿児島県	7	0
愛知県	33	0	沖縄県	29	0
三重県	8	0	国外	11	0

わたしたちのまち

(平成25年10月末現在)

人口	19,469人	転入	16人
男	9,519人	転出	26人
女	9,950人	出生	14人
世帯数	7,248戸	死亡	18人

※転入は、震災後転出した方の再転入のみ。
※人口は、外国人を含みます。

※この欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。
復興推進課情報統計係 TEL0243(62)4731

お誕生

出生届は14日以内に (10月)

こどもの名(性別)	親の名	住所
高倉 倫七(女)	孝成・夏美	権現堂
朝田 智哉(男)	英謙・麻美	権現堂
大竹 莉瑚(女)	裕之・紗綾	西台
板倉 稜(男)	芳樹・未来	高瀬
佐藤 陽音(男)	亮太・晴香	北幾世橋
泉田 陽大(男)	憲一・舞	北幾世橋
長谷川 夢依(女)	智裕・莉江	川添
吉野 新平(男)	洋平・喜穂	末森
林 海里(男)	裕生・理沙	川添
佐藤 祐祐(男)	行広・恵美	北幾世橋
掃部関 時江(女)	全・絵美	棚塩
南 心響(男)	光・佳奈	川添
安田 桜子(女)	直樹・宏子	川添
原田 珠愛(女)	茂浩・亜美	谷津田
熊上 莉乃(女)	達耶・亜由美	室原

お悔み

死亡届は7日以内に (10月)

死亡者名	年齢	住所
安部 宗雄	72歳	北幾世橋
林 春子	83歳	立野
三瓶 祐治	82歳	南津島
大竹 利雄	91歳	西台
門馬 勝夫	83歳	権現堂
尾形 武子	98歳	加倉
植野 正久	66歳	牛渡
木幡 七之助	86歳	権現堂

仮設津島診療所 インフルエンザ 予防接種

- ▷接種期間 12月26日(木)まで
*時間延長：期間中の月・火・木曜日は、16時30分まで受け付けます。
- ▷持参するもの
 - 予防接種予診票(助成を受ける方)
 - 健康保険証(住所、年齢が確認できるもの)
 - 母子健康手帳(用意できる場合)
- ▷その他
 - 個人の場合は、予約無しでも接種できます。
 - 団体に接種を希望する場合は、事前予約が必要です。
- *詳しくはお問い合わせください。

問 仮設津島診療所 TEL0243(24)1431

相馬方部センター
センター長 米倉 一磨氏
話し合い
申・問 相双保健福祉事務所障がい者支援チーム
TEL 0244(26)1132
電話で事前にお申し込みください

浪江の こころ通信



・第30号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

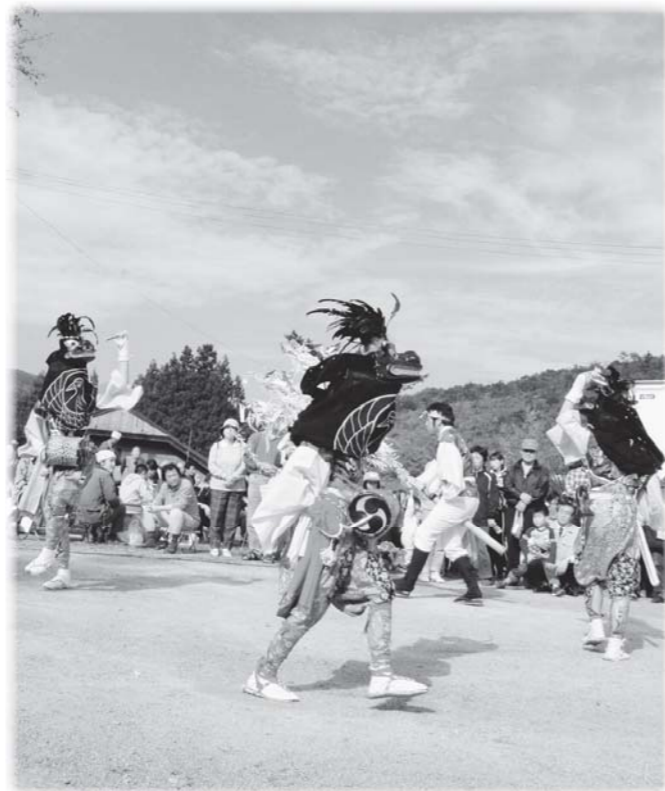
こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、東北圏（7県）の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信／第30号」への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243(22)4218



12月の休館日

2日(月) 9日(月) 15日(日) 16日(月) 23日(祝)
※年末年始は、12月29日(日)～1月3日(金)まで休館します。なお、新年は1月4日(土)より開館します。

浪江 in 福島ライブラリー きぼう
(仮設浪江図書館)

Tel・Fax 024(573)4295

〒960-0241 福島市笹谷字片目清水 30-8

◆貸出冊数 1人5冊まで

◆利用時間 9時～17時

※お気軽にご利用ください。



読んでみませんか

部屋の中に居る時間が長くなる季節になりました。ぜひご利用ください。この他、手芸の本が多数あります。



「今編みたい
ニット」
ブティック社
2013



「ちりめんで作る
お細工物」
弓岡勝美/著
日本ヴォーグ社
2012



「エコクラフトカフェへ
ようこそ!」
古木明美/著
河出書房新社 2008



「やさしい着物リメイク」
日本ヴォーグ社 2012

有料広告募集

問 復興推進課情報統計係
Tel 0243(62)4731

広報なみえでは、5月号から有料広告の掲載を再開しています。

全国に避難している町民の皆さんへ発送している広報紙は、皆さんの目に触れる機会が多く、高い宣伝効果が期待できると思われまます。

■広告の大きさ

1 枠 縦 47mm × 横 88mm

広報紙 1号につき 2 枠まで (最終ページは 4 枠まで) 掲載できます。

■募集期間

枠に空きがある場合は、随時受付けています。

■掲載場所

各ページ (表紙除く) の下段 (1 色刷り)
最終ページ (4 色刷り)

■申込方法

申請書に必要書類を添えてお申し込みください。
※申請書が必要な方は、郵送しますのでご連絡ください。また、町ホームページからもダウンロードできます。

区 分	広告掲載料 (広報紙1号あたり)	
	1 色刷り	4 色刷り
<ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年 3 月 11 日において、町内に事務所または営業所を置いて、東日本大震災後事業を再開したもの。 浪江町に住所を有し (東日本大震災以降住所を有さなくなったものを含む)、東日本大震災後に新たに事業を開始したものおよび復興に寄与する事業を営むもの。 	5,000円	10,000円
<ul style="list-style-type: none"> 上記以外のもの 	10,000円	20,000円

※ 1 枠の実寸サイズです。



川村 博さん(幾世橋)

取材者：浪江町役場 舩田・嶋原
取材日：11月7日

ふるさとを次の世代に繋ぎたい

川村さんは、ご家族と離れて南相馬に1人で暮らしています。特定非営利活動法人Jin代表として高齢者のための「サポートセンター」や各種障がい者福祉サービス事業を運営しながら、県・町の協力を得て町内で養鶏と農作物の試験栽培を行っています。今後は、畑にチューリップなどを植えて、皆さんにふるさとを綺麗だと思ってもらえるようにしていきたいとおっしゃいます。



▲町内の試験栽培場にて (幾世橋)

震災後、3月22日まで一緒に避難していたデイサービスの最後の利用者さんを無事家族へ送り届けて利用者支援を終わりました。その後は、生活不活発病予防のために1次避難所の体育館に「ゲリラ体操だ!」と言って訪れ皆さんと体操をしたり、入浴や通院の手伝いをしました。2次避難所でも月曜から金曜までずっと体操をしていました。その後、避難先各所において高齢者や障がい者支援の事業を展開し、昨年4月南相馬市に「サラタ農園」を開設して無農薬野菜を栽培しています。全国の方

が応援してくれて、多い時には月に100人程のボランティアが来てくれます。遠くは九州、外国の方やリピーターもいます。忘れないで来てくれてありがとうございますと感謝の気持ちを申し上げます。また、私達の法人の活動をまとめた映像を見ながら1時間話を聞いてもらっています。ボランティアの方が帰ってから伝えてくれるのは大切なことだと思います。来てもらうことで初めてわかることがあります。全国から野菜を買いたい、販売するから送ってほしいなど沢山のメッセージもいただきます。何もしていない農地は荒れてしまいます。ふるさとの美しい風景は農家が担っています。原発から20km圏内で試験栽培をするにあたって、県がモニタリングをまめにしてくれ、ずっとデータを取ながら町とも協力体制を進めています。鶏卵については許可を得て南相馬の道の駅で販売しています。もちろん放射性物質は不検出でとてもおいしい卵です。避難生活で体が弱ったり気持ち

ちが内向的になりがちなので、二本松や本宮の仮設の方に呼び掛けて、ここ浪江の農地に来てもらいジャガイモ掘りや草むしりをしてもらっています。参加された皆さんから「気持ちが清々している」と言っていたので、道を通る人が寄ってくださり、「畑が綺麗になっていいのを見ることが洗われる」とも言われます。ふるさとを綺麗じゃなきゃだめだと思えます。帰ってきた人にふるさとを綺麗だと思ってもらうために春に向けてチューリップ6,600個を畑に植える予定です。「花は人を呼ぶ」ですね。今やっていることはやめれば終わりですけど、可能性はゼロでないからやるしかないと思います。糸口を探しているのやってみようと思っています。価値観は人それぞれですが、自立はしていかなければいけないと思います。子どもたちには頑張る姿を見せるのが大人だと思います。次の世代に責任を持って繋いでいく努力をしなければいけないと僕は思っています。



今泉 翔太さん(川添)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 古山
取材日：11月9日

甲子園の先導役を務めた思い出を胸に、夢に向かって

秋晴れの11月9日、本宮市白沢総合支所(浪江町本宮出張所)に程近い「白沢運動場」で、町長杯ソフトボール大会が開催されました。出場した8チームのひとつ、「トッピーズ」の選手として参加した今泉翔太さんを訪ねました。

残念ながらチームは1回戦で敗退してしまいましたが、高校野球らしい深淵としたバッティングや守りの固いセンターのプレーに、対戦チームSSBの選手たちからも盛んな声援が飛んでいました。



■野球を続けるために、福島東高に転校

2011年3月11日は中学校の卒業式で、地震が起きた時には家に帰っていません。母は祖母と妹を連れて車で出かけており、家には僕と父、それから祖父もいたかもしれません。家の一部が壊れましたが僕たちは無事で、その夜は近所の人たちと一緒に焚火をしたりしながら、車の中で過ごしました。翌朝、母の実家のある葛尾村に、家族6人と近所の人たち3世帯で避難し、3日間過ごしました。その後、福島市のあづま運動公園の避難所に3ヶ月間いて、それから市内荒井の借上げ住宅に移りました。避難所の生活は

本当に長く感じられました。僕は福島県立双葉高校に進学が内定していましたが、避難先の福島市にある福島東高校の転入試験を受けて転校することが出来ました。小学校の時から中学校までずっと野球をしていましたし、何とか続けたいと思っていましたから、野球部に入部しました。シヨートを任せられ、3年生になった今年の春は東北大会ベスト4、夏は県大会ベスト4になり、いい成績を残すことが出来ました。■甲子園の思い出は強烈です 福島東高ナインは残念ながら甲子園出場には至りませんでした。今年夏の全国高校野球大会の開会式と始球式に、東日本



▲ひとつひとつの質問に丁寧に答えてくれた翔太さん

▶バッターボックスに立つ凛々しい姿

大震災の被災3県から地方大会で活躍した高校球児3人が選ばれ、僕は甲子園での開会式の先導役を務めました。ともかく、初めて味わった物凄く緊張感でしたね。周りの観客の声援は、僕がこれまでに体験したことのない大きなものでした。甲子園球場はスタンドが高く、球場全体に囲まれているような印象を受けました。■社会を担う若者として活躍したい 来春、埼玉県内の大学に野球推薦で進学することが決まっています。この大学の野球部は関甲新学生リーグに加盟しており、選手としてこれから活躍出来るよう頑張りたいです。福島東高の選手は引退しましたが、野球部の練習は続けています。僕の野球好きは、たぶん父の影響が大きいですね。祖父もプロ野球好きで、小さい頃から家の中では野球の話が多かったです。僕は将来、教員になって、出来れば高校野球の監督を目指したいです。これからは、僕らが主役となって社会で活躍することになると思いますが、ばらばらになつてしまった浪江の友だちもまた、社会人として活躍している姿で会えることを願っています。



「浪江のこころプロジェクト」

取材協力者情報交換会を開催しました



10月12日、取材協力者情報交換会の様子 (郡山市市民交流プラザ)

町と一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムとの協働により進められている「浪江のこころプロジェクト」では、長期化する避難生活や先の見えない不安の中で、町民がどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのかを発信し、町民の思いをつなげるために「浪江のこころ通信」を発行してきました。

この取材協力者が集まる情報交換会「浪江のこころ通信」これまで「これから」が、10月12日、13日の2日間にわたって開催されました。北は秋田県、南は沖縄県まで全国各地の取材協力者が集い、プロジェクトのこれまでの取り組みについて振り返り、各地の状況についての情報交換や浪江町内への視察等を行いながら、今後のプロジェクトのあり方について議論を深めました。



10月13日、町内視察の様子 (ふれあいセンター、仮置き場)

とても素晴らしい経験をさせていただきました。町長さんをはじめ現場の方々の苦悩や熱い思いを目の当たりにし、その翌日には、荒涼とした、それでも海も山も空も心地よい南相馬や浪江の現場に立ち、そこから避難している方々のことを考えるとき胸ふさがれる思いがしました。

参加者コメント
NPO法人 あきたパートナーシップ 高杉 静子 さん

時間がたてば避難先に慣れると思っていた私は、どんなにか皆さんが望郷の念を抱きながら生活しているかを思い知った気がしました。 私たちのできることは少ないかもしれないけれど、一人でも多くの被災者の方の心が少しでも安らかでありますようにと、あらためて感じました。 私たちは秋田でも避難者の買い物支援やIT支援をしています。 明後日も、浪江からいらした方にもお目にかかります。 全国各地の皆さんに会えたこともとても嬉しかったことの一つです。 皆さんもどうぞお元気で過ごしてくださいませ。 ようお祈りしております。 ありがとうございます (10月15日)



神長倉豊隆さん(酒田)

取材者：浪江町役場 舛田・鳴原
取材日：11月6日

浪江で“一人でできる花屋”を再開するのが夢

昭和27年開業の「美花」2代目としてフラワーショップを経営されていた神長倉豊隆さんは、現在、奥様と娘さんと3人で郡山市にお住まいです。NPO新町なみえの理事長として、各地の交流会や盆踊り、十日市祭など町民の絆づくりの活動をなさっています。



震災当日は中学校の卒業式などがあり忙しい日で、妻と息子は配達に出掛け店には娘と2人で落ちた。激しい揺れのため花瓶が落ちたりしましたが家族は無事でした。自宅は被害が少なく、夜は居間で家族8人が一緒に休みました。翌日、防災無線などで避難指示を知り津島へ避難し、3日後、二本松の花屋の友人からの連絡で妻と娘の3人で避難させてもらいました。そこで3月いっぱいお世話になり、4月から郡山にアパートを借りて現在まで住んでいます。息子夫婦

と3人の孫は息子の友人からの連絡で津島からいわきなどを經由し、今はお嫁さんのおばさんが住んでいる横浜に避難しています。避難生活が短く終わってほしいという気持ちとは矛盾していますが、息子には時間がかかるかもしれないのでこれからの生活をしっかりとるように話しました。 浪江では商工会の商業部会長だったので、事業再開のために何かしたい、復興のために何かしたいという思いがありました。5月の総代会でNPO新町なみえのメンバーとなる仲間との出会いがあり、まずは新町通りでやっていた盆踊りをしようということになり二本松で開催しました。当日は浪江の人達3、000人が集まり、沢山の出会いから人が集まる重要性がわかり十日市祭もやろうということになりました。規模は浪江の3分の1ですが二本松での開催は数十倍大変です。でも、苦労の甲斐があり初年度は3万人の人出で遠くは九州から来てくれた方もいました。実はこの時に忘れられない出来事があります。い

わきの借上げ住宅に一人暮らしをしている90歳近いおばあさんが何度も列車を乗り換えて杖を突きながら来てくれて「浪江の人に会いたかった。」と、涙ぐんで話されました。やっぴりすることがひとつの絆になる、お祭りは生きる元気や勇気を与えてくれると思いました。 お祭りだけでなくこれまでしてきた団体としての活動が人に喜んでもらっているのは良かったです。世代をつないでも浪江で子どもたちが安心して暮らしていけるふるさとを町づくりをしていきたいと思います。 しばらくはNPOの仕事ですが、いつか浪江で花屋を開きたいと思っています。「浪江での事業再開は俺の夢だ。」と、仲間にはいつも話しています。

連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所
〒964-0984
二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243(62)0123 FAX 0243(22)4261
- 復興再生事務所（浪江町役場本庁舎）
帰町準備室・復旧事業課・ふるさと再生課
〒979-1592
双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL 0240(34)2111
- 復興再生事務所（前南相馬出張所）
帰町準備室庶務係の一部職員が勤務しています。
〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
TEL 0244(23)1112 FAX 0244(23)1114
- 福島出張所
〒960-8601
福島市五老内町3番1号
（福島市役所9階西側）
TEL 024(535)0750 FAX 024(535)0753
- 本宮出張所
〒969-1203
本宮市白岩字堤崎494番地22
（本宮市役所白沢総合支所1階）
TEL 0243(44)1185・1186
FAX 0243(44)1187
- 桑折出張所
〒969-1611
伊達郡桑折町字東大隅18番地
（桑折町役場2階）
TEL 024(582)2130 FAX 024(582)2135
- いわき出張所
〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
（いわき市文化センター2階第4会議室）
TEL 0246(24)0020 FAX 0246(24)0026
- 浪江町議会事務局
〒964-0984
二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243(62)0196 FAX 0243(22)4231
- 浪江町教育委員会
〒964-0984
二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243(62)0301 FAX 0243(22)4223
- 浪江町社会福祉協議会
〒964-0984
二本松市北ト口ミ520番地
TEL 0243(62)0877 FAX 0243(23)7970
- 仮設津島診療所
〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243(24)1431

ここからは広告です。

- ・クレーン作業
- ・工事車両リース・レンタル
- ・トレーラー・トラック運送
- ・一般貨物自動車運送事業







株式会社 伊達重機

【いわき営業所】〒970-8003
福島県いわき市平下平窪字味噌農2-2
TEL0246-88-1812 / FAX0246-88-1813

【楡葉営業所】〒979-0606
福島県双葉郡楡葉町上繁岡字小六郎87-14
TEL0240-25-8753 / FAX0240-25-8783

【本社】〒979-1504
福島県双葉郡浪江町大字酒田字上原18-7

客室のご案内（全53室）

タイプ（朝食付き）	お一部屋ご宿泊代
シングルルーム	5,400円
ダブルルーム	7,500円
ツインルーム	9,000円

◇ 専用駐車場有（有料）
◇ 禁煙ルーム有
◇ チェックイン15:00 / チェックアウト10:00

主要アクセス
JR常磐線 / 高速バス いわき駅南口より徒歩3分

HOTEL なみえ TEL 0246-24-2555
FAX 0246-22-0512

〒970-8026 福島県いわき市平字南町63-1



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243(62)4731 FAX 0243(22)4218
<http://www.town.namie.fukushima.jp>